



放課後まなび教室ニュース

令和6年3月 NO.29

令和5年度も残すところあとわずか。放課後まなび教室の運営にご尽力いただきありがとうございます。今号では、令和5年11月に京都市総合教育センターにて開催した2つのスタッフ研修会と、3校の放課後まなび教室の様子などをお届けいたします。



テーマ「タブレットを活用した学習について」11月9日 実施 講師：京都市総合教育センター 指導室 主任指導主事 前田 謙



前半は前田主事から、変化の激しい人生100年時代を生き抜くためのICT教育の在り方について、また授業でのタブレット活用法を教科別に紹介いただきました。



後半は子どもたちがタブレット学習で使用しているソフト「ミライシード」を開発されたベネッセの方から使い方等のご説明をいただき、参加者の皆さんにパソコンで「5年生の算数」にチャレンジいただきました。



- ・新しい授業の在り方が学べて良かった。
- ・タブレット学習の取組内容がよく理解できた。
- ・子ども達が使っているミライシードの仕組が分かり良かった。

参加者の声

テーマ「子どもたちが喜ぶ手作り体験」11月24日

講師：大將軍小学校 放課後まなび教室実行委員会 吉田 秀樹 さん
★2つの工作をご紹介します！！



数合わせパズル

画用紙に数字を書き、切り込みを入れるだけで完成。紙を内側や外側に折ったりしながら同じ数字を4つ揃えるパズル。あっという間に揃う数字や、一向に揃わない数字に苦戦しながら皆さん楽しく取り組んでいらっしゃいました。四字熟語やアルファベットに置き換えて遊べることも教えて下さいました。

恐竜の卵

袋状にしたアルミホイルにビー玉を入れ、それをタッパーに入れて振ると出来上がり。マジックで思い思いの模様を描きオリジナルの卵作りに皆さん熱中していました。

- ・どちらの工作も早速まなび教室で取り組んでみようと思う。
- ・とても楽しかった。子どもたちと早く作りたい。子どもたちの喜ぶ顔が浮かびます。
- ・どちらも身近な材料で準備が少なく簡単に作ることができるので是非やってみます。

参加者の声



開設5周年の御所東小学校放課後まなび教室へ感謝状の贈呈を行いました

平成30年4月に開校した御所東小学校にて、「放課後まなび教室」が開設5周年を迎えたことから、感謝状の贈呈を行いました。スタッフの皆様には、子どもたちの放課後における自主的な学びの場と安心安全な居場所づくりにご尽力いただき誠にありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。

京都市立小学校全158校（小中一貫校含む）で実施している放課後まなび教室。
今回は3校の様子をお伝えいたします。

北醍醐小学校(伏見区)

北醍醐小学校放課後まなび教室では、高学年が学習をしている時間帯に伺いました。宿題が終わると好きな活動ができ、紙コップで背丈よりも大きなピラミッドを制作したり、代々受け継がれている牛乳パック製の編み物台でスヌード作りをしたり、子どもたち発案の豆投げゲームをしたりと楽しく和やかな時間を過ごしていました。スタッフからは、「子どもたちのそばにいてだけで元気が貰える。」「『運動会に来て』と声をかけられたとき嬉しかった。」「中学生になっても遊びに来てくれ、成長したその姿に喜びを感じた。」等、やりがいについてのお話を聞くことができました。先生方からは「教室とはまた違うリラックスした顔を出せる貴重な場となっている。」「スタッフの皆様とはまなび教室の活動を通し色々な話ができる。」「子どもたちがいつも居心地よく過ごせるよう工夫をいただいている。」等、感謝の気持ちを話され、まなび教室を通して学校と地域の皆様が子どもたちを温かく見守っている様子を伺うことができました。



宇多野小学校(右京区)

宇多野小学校放課後まなび教室では、子どもたちが元気良く教室にやって来るとすぐに宿題に取り掛かります。お友達やスタッフとのお話を楽しむ子どもたちも、暫くすると自ら切り替えて宿題に向かいます。宿題を終えると、大好きな工作タイム。みんな笑顔で、編み物をしたり木の実に装飾をしたりして、楽しく活動していました。スタッフからは「元気にやって来て、もっと元気になって帰って行く姿を見るのが生き甲斐。子どもたちから元気と癒しをもらっている。」と、嬉しいお話を伺いました。また、「職員室の先生方もまなび教室の取組やスタッフを気にかけてくださり、温かい雰囲気の中で活動が出来ている。」とのことでした。先生方からも「担任以外の大人に関わっていただけるかけがえのない場所。子どもたちの関心に合わせて様々な準備をいただき感謝している。」と強い信頼関係が伺え、お互いに感謝し合いながら、子どもたちを見守っていただいていることがよく分かりました。



元町小学校(北区)

元町小学校放課後まなび教室は図書室で実施しています。子どもたちはやってくると、マグネットの名札を小黒板に貼るので、誰が来ているのかが一目瞭然です。子どもたちは黙々と宿題に取り組み、終われば好きなことに熱中します。お友達と一緒に本を読んだり、スタッフから出されたクイズの答えを図書室の本から探すなど、図書室ならではの様子が伺えました。不定期に実施されるお習字は順番待ちになるくらい大人気ようです。スタッフからは、「素直で可愛い子どもたちに癒される。子ども同士観察して学び合う姿に感動する。高学年が低学年の様子を気かけたりするなど子どもたちの成長をそばで見られるのがやりがい。」と話されていました。気になったことがあればその日のうちに先生方に伝えるなど、意思疎通が取れているとのこと。先生方からも「いつも子どもたちが楽しめるよう活動を工夫していただいている。職員室に工作物を見せに来てくれる子もいて、子どもたちはスタッフの皆様との時間をいつも楽しみにしている。」とスタッフと学校との強い繋がりが伺える取材となりました。



発行 京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課 放課後まなび教室担当
〒604-8171 中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル 2階

